

2026 年度第 5 回価格審査会の開催について

2026 年度第 5 回価格審査会が開催されましたので、議事概要についてお知らせいたします。

この価格審査会は、外部の有識者によって、当財団が発刊・公開する定期刊行物等の掲載価格について、その客観性、妥当性の審査を行うものです。

開催日時	2026 年 8 月 13 日(木) ～ 8 月 14 日 (金)		
場 所	上記期間中のメール会議にて実施した		
委 員	松田 寛志	日本工営株式会社 日本地域統括（兼）東京支店長	
	遠藤 和重	一般財団法人日本建設情報総合センター システム事業部門 コリンズ・テクリスセンター長	
	鈴木 由香	株式会社日本設計 コスト設計部長	
	星野 正	東日本旅客鉄道株式会社 東京建設プロジェクトマネジメントオフィス プロジェクト支援ユニット プロジェクト予算 マネージャー(総括)	
	松本 尚佳	東日本建設業保証株式会社 業務部 副部長	
当 会	共通資材調査部	部長：小林 法雅、次長：南 昌宏	
	建築調査部	部長：高橋 俊一、次長：岩井 卓矢	
	監査審査室	室長：黒澤 昭浩	
	調査統括部(事務局)	部長：大澤 勝、課長：竹屋 宏樹	

☐2026 年度第 4 回価格審査会議事録(案) 確認

☐2026 年度第 5 回価格審査会審議資料説明

審議資料の説明	
1. 「建設物価」9月号、「Web 建設物価」9月号 の入稿状況	・ 価格が上伸した資材（工事費） 【Web 建設物価】 H形鋼（青森市ほか38都市）、等辺山形鋼（青森市ほか38都市）、鋼板（青森市ほか38都市）、線材製品（北海道地区ほか0都市）、レディーミクストコンクリート（普通セメント使用）（釧路市ほか33都市）、コンクリート用骨材（仙台市ほか92都市）、再生砕石類（石巻A地区（旧石巻市）ほか57都市）、一般建築用木材（全国）、アスファルト混合物（北秋田B地区（旧森吉町）ほか39都市）、道路用コンクリート製品（秋田市ほか10都市）、遠心力鉄筋コンクリート管（ヒューム管）（岐阜市ほか3都市）、構造用合板—J A S 品—（東京都23区ほか9都市）、600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル（平形）（VVF）（全国）、合成樹脂製可とう電線管（全国）ほか。 ・ 価格が下落した資材（工事費） 【Web 建設物価】 ストレートアスファルト（全国）、鉄スクラップ（全国）、非鉄スクラップ（全国）ほか。
2. 比較資料	・ 企業物価指数、モニター調査結果、業界紙との比較結果について説明

審議事項	委員の意見、質問	建設物価調査会説明・回答
質問 1	レディーミクストコンクリートの上伸都市数が減少する一方、骨材は 72 都市から 102 都市へ増加している。輸送費や人件費、運転手不足、原石確保など共通する要因はあるのか。また、浜松地区では土採取等規制条例による新規開発の制約が砂利不足に影響しているのか。県内他地区との違いは何か。	輸送費、人件費、機械設備費の上昇に加え、運転手不足による輸送能力の低下、事業者の減少、原石確保の問題などが上伸要因である。浜松では条例施行以前から資源の枯渇が進み、条例の影響で新規開発が難しく、枯渇に拍車がかかっている。一方、大井川水系などは条例の対象外である。
質問 2	アスファルト混合物は上伸都市数が 38 都市へ急増している一方、主な原材料であるストレートアスファルトは 4,000 円下落している。ストレートアスファルトが下落するなか、アスファルト混合物価格が上昇している背景にはどのような要因があるのか。	ストレートアスファルトは下落したものの、依然として高値水準にある。また、出荷数量が減少するなか、固定費負担が増大し、骨材や電気・ガスなどの製造コスト、人員確保に向けた待遇改善費用、設備老朽化への対応費用も増加している。こうしたコスト増を背景に、引き続き値上げに取り組むメーカーが多い。
質問 3	異形棒鋼は 4 ～ 5 月頃の強基調から弱含みで推移している一方、H 形鋼は低調な需要環境下でも強基調となっている。H 形鋼の価格が強基調となっている背景には、異形棒鋼ほど価格上昇が進んでいないことに加え、メーカーの採算重視の姿勢が影響しているのか。	異形棒鋼ほど価格上昇が進んでいないことも一因であるが、より大きな要因は、危機感を強めた H 形鋼メーカーが数量を追うよりも採算を重視する姿勢を強めており、その姿勢が市中取引にも反映されていることである。
質問 4	レディーミクストコンクリートは、東京地区で 2027 年 4 月から 5,000 円という過去最大幅の値上げが表明されている。今回のレディーミクストコンクリートの値上げはどの程度浸透すると見込んでいるのか。また、東京地区の値上げが、周辺地区や全国のレディーミクストコンクリートの市況に波及する可能性はあるのか。	レディーミクストコンクリートについて、協組やメーカーは 5,000 円の満額値上げの浸透を目指しているが、現時点では、どの程度の値上げが浸透するかは見通しにくい。最大需要地である東京地区のレディーミクストコンクリートの値上げ動向には注目が集まっており、周辺地区の値上げや市況にも一定程度影響を及ぼす可能性がある。
質問 5	異形棒鋼の原料である鉄スクラップは、北海道の価格が 30,500 円と全国他地域と比較してかなり安い一方、異形棒鋼は 120,000 円と他地域より高い。鉄スクラップと異形棒鋼で、このような価格差が生じている理由は何か。	北海道の鉄スクラップは、地区内の競合状況や発生量に対して地元需要が薄いことなどから、買入価格が抑えられやすい傾向にある。一方、北海道の異形棒鋼は道内 2 社 2 工場による生産で、道外からの流入も限られている。北海道新幹線関連工事などの需要が堅調なことから、異形棒鋼の価格が高止まりしやすい環境にある。

質問 6	東京地区のレディーミクストコンクリートについて、来年度からの値上げ表明額が 3,000 円から 5,000 円へ変更されたが、その主な要因は何か。中東情勢による価格上昇の影響はどの程度含まれているのか。また、他の地域でも同程度の大幅な値上げが表明されているのか。	東京地区のレディーミクストコンクリートの値上げ額変更は、主にセメント価格の上昇によるものである。増額分の 2,000 円には、中東情勢による混和剤価格の上昇分も一部含まれているが、主因ではない。なお、神奈川・埼玉・千葉など関東一円の多くの都市でも、東京地区と同水準の大幅な値上げが表明されている。
質問 7	舞鶴地区のレディーミクストコンクリート価格が周辺地域に比べて大きく上昇し、最大変動率 69.6%となった背景には、どのような要因があるのか。	2026 年 3 月、エリア内でシェアトップであった員外社が生コン協組に加入した。これを背景に、協組はセメントなどの原材料費や輸送コストの上昇を理由として 4 月から値上げを表明した。員外社の加入による競争環境の変化もあり、協組が過去の値上げ分を含めて強気の交渉を進めた結果、需要家も周辺市況や製造コストの上昇に理解を示し、11,200 円の大幅な値上げが浸透した。
質問 8	電線価格に連動する銅建値が高い水準で推移する一方、荷動きが停滞しているなかでも、価格上昇が受け入れられる状況にあるのか。また、銅以外に、中東情勢の影響を受けている原材料や資材はあるのか。	電線は需要減少により荷動きが停滞しているが、供給量・流通在庫が潤沢ではなく、品種によっては品薄状態が続いている。必要数量の確保を優先する需要家も多く、メーカーの値上げが浸透しやすい環境にある。電線の被覆材にはナフサ由来の樹脂が使用されており、中東情勢の影響を受けるが、価格全体への影響は銅に比べて限定的である。電線価格は引き続き銅相場の影響が大きい。なお、銅の製錬に用いる硫酸の原料である硫黄も中東依存度が高いとされ、供給不安が銅相場の一因との指摘もあるため、注視していく。
質問 9	横須賀地区のレディーミクストコンクリートは、上昇する規格がある一方で下落している。今回の下落はどの規格で生じたのか。また、その要因は何か。	横須賀地区では、協組がセメント・混和剤等の原価上昇を踏まえ、規格ごとの価格表（規格間格差）を見直した。一律のベースアップではなく、各規格のコストを精査した改定である。その結果、多くの規格は原価上昇分が反映され上伸した一方、「水セメント比指定」規格の一部は、各工場が必要とされる強度発現を見直した結果、下落となった。

質問 10	コンクリート用骨材の最大変動率 41.2%となった要因と、レディーミクストコンクリートの価格変動との関係を教えてほしい。また、舞鶴地区はレディーミクストコンクリートの最大変動地区である一方、コンクリート用骨材では上位に入っていないが、これは価格改定時期のずれによるものか。	最大変動率 41.2%は、和歌山県橋本地区のコンクリート用碎石 20～5mm が、1,550 円上伸したものである。製造・輸送コストの上昇を理由にメーカーが値上げを表明し、レディーミクストコンクリートメーカーも市況改善と供給の安定確保を優先して受け入れた。舞鶴地区がレディーミクストコンクリートの最大変動地区である一方、コンクリート用骨材では上位に入らないのは、単純な期ずれというより、地区ごとに骨材とレディーミクストコンクリートの価格改定時期や交渉状況が異なるためである。全国的に骨材メーカーはコスト上昇を理由に値上げを進めているが、浸透する時期や幅には地区ごとに差がある。
質問 11	希釈材の価格に変動がなかったのは、中東情勢の影響が解消したためか、取引自体がなかったためか。	希釈材は、中東情勢を背景とした需給ひっ迫により、今年に入り 2 回上伸した。その後、入手難は徐々に解消され、現在は概ね正常に取引が行われている。今月も取引は行われているが、価格変動はなく、中東情勢による影響は薄まりつつある。
質問 12	ストレートアスファルトは、原材料である原油の調達コストの値下がり为背景に仕切価格が引き下げられているが、原油価格が下落している要因は何か。政府の補助金や備蓄、調達先の変更などの影響はあるのか。	ストレートアスファルトは、政府備蓄への依存は現状ほとんどなく、政府による補助金もない。中東情勢の緊張緩和を受け、ドバイ原油などの指標価格が下落し、仕切価格も下落している。ただし、中東以外からの原油調達コストなどが影響し、指標価格の下落幅に比べ、ストレートアスファルトの仕切価格の下落幅は小幅にとどまっている。
質問 13	燃料油の価格変動が記載されていない理由は何か。また、青森市では「市場流通少なく、『価格掲載』→『…』」となっているが、流通量が少なくなることがあるのか。燃料油の価格が全国的に前月から変動していないのは、補助金の影響によるものか。	燃料油は、補助金により全国的に仕切価格の変動が抑制されており、その結果、全国的に前月から価格変動がなかった。青森市では、バージ A 重油の掲載が「…」に変更となった。青森港でバージ船を保有している業者が確認できなくなり、単価設定が困難となったためである。
質問 14	熊本地震の影響による資材価格の今後の動向について、現時点でどのように見ているのか。能登地震の際と同様の価格動向となる可能性はあるのか。	現時点では、熊本地震による資材価格への影響は不透明である。ただし、被害規模が能登地震とは異なるため、同様の価格動向になるとは限らないと考えている。

質問 15	「白ナンバー規制により輸送費も上昇」とあるが、この影響は関東地区（八王子）で顕著なのか、それとも全国的に始めている事象か。	改正貨物自動車運送事業法により 2026 年 4 月 1 日から白ナンバートラックへの規制が強化され、緑ナンバートラックの運賃相場が上昇し輸送コストが増加した。影響は白ナンバーの利用が比較的多かった関東地区で顕著だが、全国的な広がり是不透明である。
質問 16	協組統合に伴う価格改定が見受けられるが、全国的に今後も集約化は進むのか。また集約化を原因とした価格上昇は中長期的に見込まれるか。	ここ数年、全国的に生コン需要が減少しており、工場や協組の集約化が進んでいる。協組は採算性を確保するため今後も値上げを打ち出す動きが続くとみられるが、集約化を背景に値上げが浸透するかは各地区の需給環境や競争状況により異なる。
審議結果	「建設物価」9月号、「Web 建設物価」9月号の価格動向に問題はなかった。	

以 上